

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者介護予防普及啓発事業			会計	款	項目	大事	小事
				08	03	01	02	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の市民及びその支援の活動に関わる者	意図	介護予防に関する知識の普及啓発
事業内容	65歳以上の市民を対象として、要介護・要支援状態となることを予防するための介護予防に関する知識の啓発のための講演会の開催やパンフレットの作成・配布を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	介護保険法の改正に伴い、地域支援事業として平成18年度に事業開始。パンフレット作成と配布の事業であったが、平成21年度からは講演会の開催と、地域の催し等での依頼に対応している。地域支援事業として、国・県・1号保険料等の地域支援事業交付金の対象となっている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講演会参加人数	143	565	349	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							<p>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</p> <p>地域からの講座の依頼数は年度によって異なる。今後もより多くの市民に関心を持ってもらえるよう、市民からの依頼があった講座のみならず、市民のニーズに沿った市主催の講座の開催にも積極的に取り組み、周知していく必要がある。</p> <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの依頼数 3回133人</li> <li>・市主催の予防教室 2回コース3回（延べ 6回）</li> <li>認知症講演会 1回</li> <li>計7回 239人</li> <li>・千葉県で実施した「介護重度化防止推進員」研修で9名の指導者を養成した。</li> </ul>
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,462,251	2,517,292	1,817,621			
事業費(b)(円)		674,251	363,892	420,221			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		3,788,000	2,153,400	1,397,400			
人役・職員(人)		0.50	0.30	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	介護予防講座プログラムを工夫し、より多くの市民が参加できるよう実施内容を検討する。	③取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの市民に関心を持ってもらい、参加してもらえるよう、開催場所や時期、内容に加えて周知方法も工夫が必要。</li> <li>・介護重度化推進員の効果的活用。</li> </ul>
②今年度(H25)に実施した取り組み	介護予防プログラム、2回コースを3回実施とし、回数を増やした。市民の関心の高い認知症予防をテーマとした講演会も実施した。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成した介護重度化推進員を「高齢者ふれあいの家」などに派遣し、体操等を通じて介護予防の普及啓発を図る。</li> <li>・介護予防プログラムの効果的なPR。</li> </ul>